

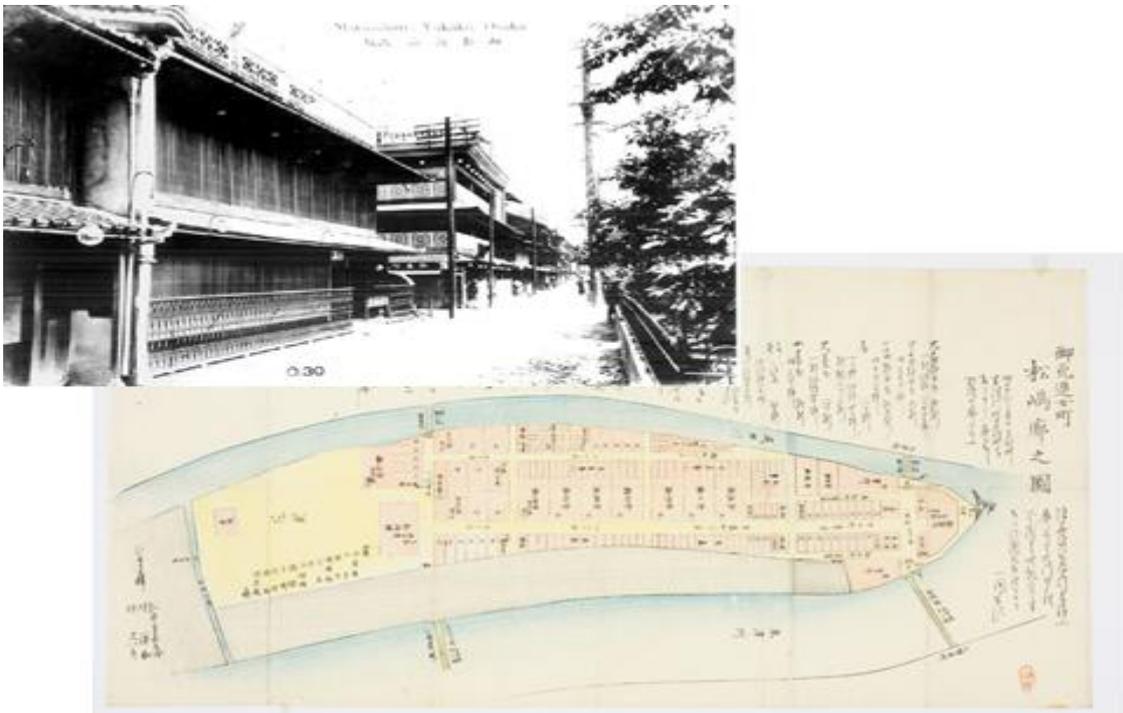
国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業

周縁的社会集団と近代一日本と欧米におけるアジア史研究の架橋 第12回セミナー

今回のセミナーでは、本事業の若手派遣研究者である吉元加奈美氏(大阪市立大学都市文化研究センター・研究員・12月よりイェール大学に派遣)に、報告をしていただきます。

報告者はこれまで、近世大坂の遊所統制について、天保期を中心に検討してきました。今回、明治初期の大坂で、性売買が許可された貸座敷指定地6か所の意味について、近世以来の社会構造を前提に考察するとともに、氏がこれまで検討してきた堀江新地の遊所の実態解明を踏まえ、明治維新时期の遊所統制の転換について、論じていただきます。

日本近世・近代都市社会史に関心のある皆さまのふるってのご参加をお待ちしています。



上写真：「松島遊廓(大阪) 大正後半」：1921-1925年、明治大正昭和の大阪写真集4

下図：「御免遊女町松嶋廓之圖」(上下ともに、大阪市立中央図書館所蔵・大阪市立図書館デジタルアーカイブより)

日時 2018年11月15日(木) 16:30~19:00ごろ

会場 大阪市立大学 文学部会議室(文学部棟 1F L122)

内容 吉元加奈美氏(大阪市立大学都市文化研究センター・研究員 / 若手派遣研究者)

「幕末～明治維新时期における遊所統制の転換と堀江新地」

連絡・問い合わせ先

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁的社会集団と近代」事務局
佐賀 朝(UCRC 所長・文学研究科教授) E-mail:CYI03126@nifty.ne.jp